

鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊

管轄森林管理局	東北森林管理局
所在地	秋田県、山形県、宮城県
面積	約64,000ha ※注1: 連結する保護林を除く、注2: 東北森林管理局管内: 47,000ha
設定年	2003年(平成15年)
緑の回廊の概要 (設定目的)	鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊は、関東森林管理局と連結して、山形県内を一巡する形で、秋田、山形、新潟、福島、宮城県境沿いに、奥羽山脈緑の回廊の神室山から、鳥海山、月山、朝日山地、飯豊山、吾妻山を經由し、蔵王山にいたる地域に約2kmの幅で、約260kmにわたって設定された。 森林生態系(保護林)を保全すると共に、生息・生育する野生動物の広域的なつながりを確保して個体群の交流を可能にし、種の保存、遺伝資源の保全を図り、生物の多様性を効果的に確保することを目的としている。



緑の回廊における森林



センサーカメラで捉えたツキノワグマ

モニタリング調査概要

実施年度	2013～2021年(平成25年～令和3年)
調査項目	森林調査(森林タイプ分析、樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査等)、動物調査、聞き取り調査。
調査手法	森林生態系多様性基礎調査、保護林モニタリング調査として、調査プロットを設定し、定点写真の撮影や樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要等を把握した。動物調査として、哺乳類調査と鳥類調査を実施した。資料調査、聞き取り調査も実施。
結果概要	緑の回廊及び連結する保護林は概ね良好に保護・管理されている。ナラ枯れが一部みられるため、今後注視していく。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。